

議員提出議案の概要及び処理結果

2月臨時会では、意見書

1件、決議2件、3月定例会では要請決議3件、宣言決議1件が提出されました。

その要旨と議決結果は次のとおりとなっています。

なお、可決された意見書等については、その趣旨の実現へ向けた速やかな対応を求めるため、国、沖縄県及び関係航空会社に直訴要請を行いました。

南ぬ島石垣空港と那覇空港を結ぶ航空路線に「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」適用を求める意見書・要請決議

要旨
提出者 砥板 芳行

県は、沖縄振興特別推進交付金を活用し、離島住民等を対象に割高な船賃及び航空賃を鉄道運賃並みに低減することを目的に「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」を実施しているが、石垣と那覇を結ぶ路線に低価格運賃の航空会社が就航したことで、「離島住民が当日購入可能な運賃が競争状態にある」として同事業の適用

を保留している。

こうしたなか、低価格運賃で同路線に就航していたスカイマーク社が、本年1月28日に民事再生法の適用を申請、3月29日から石垣那覇間の路線から撤退する意向を示しており、離島住民が当日購入可能な運賃は競争状態ではない状態となっている。

また、過去に宮古と那覇を結ぶ路線で同社が運休をした後、既存航空会社は大幅に割引運賃を値上げしており、今回の同社撤退後に石垣と那覇を結ぶ既存航空会社が割引運賃の大幅な値上げを行った場合、市民生活や地域経済へ与える影響は甚大である。

よって当市議会は、同事業の目的に鑑み、早急に石垣と那覇を結ぶ路線に「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」を適用することを強く求める。

○提出先 沖縄県知事、県議会議長、地元選出県議会議員

(結果) 全会一致で可決

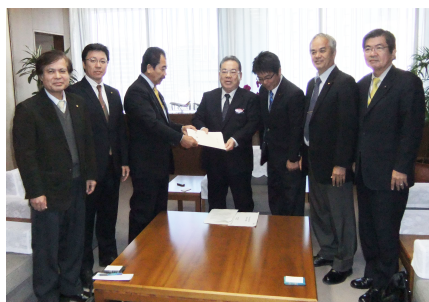
南ぬ島石垣空港・那覇空港間の現行運賃制度維持を求める要請決議

要旨
提出者 砥板 芳行

沖縄本島へ渡る唯一の公共交通は航空路線のみである。多くの市民が航空路線を利用しており、市民生活や経済活動における航空運賃負担は大きい。

南ぬ島石垣空港が開港し、これまでの航空会社の他に、低価格運賃の航空会社が就航し、既存の航空会社も低価格の運賃制度を設けたことにより、高額な航空運賃の負担軽減が図られ、観光産業に於いては過去最高の観光客数となった。

こうしたなか、低価格運賃で新たに就航したスカイ



安慶田光男副知事に交通コスト負担軽減の要請書を手渡す石垣市議会要請団

マーク社は、本年3月29日から南ぬ島石垣空港と那覇空港を結ぶ路線から撤退する意向を示した。

過去に宮古と那覇を結ぶ路線で同社が運休をした後、既存航空会社は大幅に割引運賃を値上げしており同社撤退後の石垣と那覇を結ぶ既存航空会社が同様に割引運賃等の大幅な値上げを行った場合、市民生活へ与える影響は甚大である。

よって当市議会は、石垣空港と那覇間を結ぶ航空会社に対して、同社撤退後も現状の運賃制度を維持することを強く求める。

○提出先 日本トランスオーシャン航空株式会社、全日本空輸株式会社

(結果) 全会一致で可決

スカイマーク株式会社の「南ぬ島石垣空港と那覇空港」を結ぶ路線の早期復活を求める要請決議

要旨
提出者 友寄 永三

本市において、離島航空路線は生活路線としての役割に加え、観光や農林水産業など離島の産業振興を図る上で極めて重要な交通

ネットワークでありますが、割高な航空運賃の低減が長年の課題でありました。

平成25年7月よりスカイマーク社の石垣と那覇を結ぶ路線への就航により、既存の航空会社も含めて運賃の低減が実現しました。

その結果、観光客も大幅に増加し、昨年の観光客数は112万人に達し、離島振興に大きく寄与しているしていることは多くの八重山郡民も認めるところであります。

そうした中、貴社の民事再生法の申請並びに石垣路線から運休方針が示されたことに対し、八重山郡民はもとより、観光客に大きな不安が広がっております。

よって、当市議会は貴社の運休・撤退により八重山郡民並びに観光客の航空交通利用における負担増大の可能性があり観光産業や市民生活に多大な損失と影響を及ぼすことが明らかでありますので、貴社の石垣と那覇を結ぶ路線の早期復活を切に要請するものであります。

○提出先 スカイマーク株式会社

(結果) 全会一致で可決